

# 原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(平成28年6月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m<sup>3</sup>上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:108)
2. 調査実施時期 平成28年6月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査  
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査

## 4. 企業判断指数の算出方法

[ (回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%)) - (回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%)) ]  
(最大値100/最小値-100)

## 5. 調査結果(回答工場数:97社 / 回答率:89.8%)

### 【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3	H28.4-6	H28.7-9	H28.10-12
H27.9	<b>7</b>	-1	0	-	-	-
H27.12	-	<b>-22</b>	-16	-11	-	-
H28.3	-	-	<b>-9</b>	-26	-22	-
H28.6	-	-	-	<b>-6</b>	-3	<b>-10</b>

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m<sup>3</sup>)

	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3	H28.4-6	H28.7-9	H28.10-12
当年	151,260	128,606	168,788	-	-	-
(前年)	172,959	162,519	190,897	167,965	151,260	128,606
対前年比	87%	79%	88%	-	-	-

(概況)  
原料在庫は依然として前年を下回る水準にあり、今後も不足感は続く見通し。

(回答企業の主なコメント)  
出材が少なく強含み/小丸太に不足感あり/小丸太の入荷が少し落ち込んでいる/原木の品質がB級クラスが多い/今後、流通材、入荷順調/

### 【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3	H28.4-6	H28.7-9	H28.10-12
H27.9	<b>-70</b>	-46	-37	-	-	-
H27.12	-	<b>-29</b>	-36	-16	-	-
H28.3	-	-	<b>-39</b>	-18	-11	-
H28.6	-	-	-	<b>-16</b>	-24	<b>-6</b>

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m<sup>3</sup>)

	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3	H28.4-6	H28.7-9	H28.10-12
当年	211,463	217,524	180,475	-	-	-
(前年)	215,499	209,330	196,064	210,535	211,463	217,524
対前年比	98%	104%	92%	-	-	-

(概況)  
荷動きは前年水準を下回っているものの、先行きについては回復傾向の見通し。

(回答企業の主なコメント)  
荷動き現状並み。今後も前年並み/新規需要先の拡大により増加/道内、又、関東も動きは良くない/中々、先の見通しが読めない/昨年度と同様の受注あるがやや引合が鈍い/

### 【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3	H28.4-6	H28.7-9	H28.10-12
H27.9	<b>4</b>	2	-16	-	-	-
H27.12	-	<b>-12</b>	-22	-22	-	-
H28.3	-	-	<b>-41</b>	-46	-35	-
H28.6	-	-	-	<b>-32</b>	-25	<b>-19</b>

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m<sup>3</sup>)

	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3	H28.4-6	H28.7-9	H28.10-12
当年	293,031	242,300	245,254	-	-	-
(前年)	248,528	222,992	270,850	291,680	293,031	242,300
対前年比	118%	109%	91%	-	-	-

(概況)  
原料在庫は前年の水準を下回っており、今後も引き続き前年の水準を下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)  
今年は雪解けが早く重機が入れなかったため5月後半まで土場が空だった/やや不足感があるも、夏~秋にかけての分は確保できるのではないかと/原木入荷は昨年対比では改善/

### 【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3	H28.4-6	H28.7-9	H28.10-12
H27.9	<b>-84</b>	-63	-46	-	-	-
H27.12	-	<b>-50</b>	-42	-30	-	-
H28.3	-	-	<b>-17</b>	-7	-2	-
H28.6	-	-	-	<b>-11</b>	-19	<b>-11</b>

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m<sup>3</sup>)

	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3	H28.4-6	H28.7-9	H28.10-12
当年	275,238	281,691	278,003	-	-	-
(前年)	294,446	292,336	280,059	298,058	275,238	281,691
対前年比	93%	96%	99%	-	-	-

(概況)  
荷動きは前年並みの水準に回復しつつあるが、先行きについては前年を若干下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)  
梱包、パレットの動き悪い。ラミナは比較的順調/昨年度は年末に向けてラミナ材が下降したが、今年は昨年のような減産はないと思う/世界経済動向に左右されるため今後も不透明/産業用途向けは減少傾向/